

中学部 国語科 学習指導案

日 時：令和4年9月16日（金）

10：40～11：30

場 所：中学部3年教室

対 象：Cグループ 4名

授業者：赤嶺 一字 柳井 貴恵

- 1 題材名** 『アナタの知らない世界』で、自分が経験したことや調べたことなどについて、行動した後の状況や話題に対する自分の答えとその理由を話そう

2 題材設定の立場

(1) 題材について

生徒観	<p>本グループは、1年生2名（B）、2年生1名（I）、3年生2名（M・N）の計4名の生徒が在籍している。課題に進んで取り組んだり、自分から宿題を教師に要求したりする生徒や、教師が「楽しかったですか」などと具体的に問いかけたり、選択肢を提示したりすると答えることができる生徒もいる。しかし、自ら挙手をして自分の考えを言う姿は少ない。また、教師が話す視点や意見の言い方や聞き方を示すと、友だちと話し合っって課題を解決しようとする姿が見られるグループである。</p>
系統観	<p>本グループは、中学部1・2段階の「聞くこと・話すこと」の内容を学習するグループである。</p> <p>①中学部1段階（B・I）</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">いつ、どこ、何をした、誰、気持ち、思ったことなどを、事柄ごとにまとめて話す</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">自分が経験したことや調べたことについて、時間的順序に沿ってあらすじを話す</div> </div> <p>②中学部2段階（M・N）</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">思ったことからまとめた自分の意見や、感想を加えて話す</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">自分の伝えたいことを明確にして詳しく話す</div> </div> <p>上記のように、2つの指導内容の層でなるグループであり、前題材で、①ではいつ、どこ、何をした、誰、気持ち、思ったことなどの視点を事柄ごとにまとめて話す、②では思ったことからまとめた自分の意見や感想を加えて話す内容まで到達している。そこで、本題材では、自分が経験したことや調べたことについて事柄ごとにまとめ、それを時間的順序に沿って話したり、自分の伝えたいことを明確にして、その理由や事例を挙げて詳しく話したりする内容を、次の指導内容として設定した。</p>
指導観	<p>本題材では、自分が経験したことや調べたことについて、時間的順序に沿って話すことができるように、順序シートに事柄メモを貼り、事柄の内容同士と関連づけながら事柄の順序を考える活動を設定する。知識及び技能の習得の高まりに応じて順序シートなどの手がかりを段階的になくしていき、事柄の内容を時系列で捉えながら話すことができるようにしていく。また、自分が好きなことについて、話す内容を明確にし、その内容について詳しく話すことができるように、トークシートなどの手がかりを段階的になくしていき、内容に対して話題やそれを選んだ理由、理由に対する事例を挙げながら話すことができるようにしていく。友だちとの対話を通して、わかりやすい話し方についての理解を深めることができるように、タブレット端末で撮影した動画で自己を振り返ったり、友だち同士でよかった点や改善できる点について伝え合ったりする活動を設定する。習得した知識及び技能を様々な場面で活用できるように、題材の中で取り上げる話題を段階的に変えていき、話題が変わっても時間的順序に沿ったり、話す内容を明確にし、その内容を詳しく伝えるための情報を加えたりして話すことができるようにする。</p>
教材観	<p>『アナタの知らない世界』は、自分が見聞きしたことや調べたことなど、生徒の興味関心に応じて話題を設定でき、友だちに紹介する活動を設定できることから、相手に伝わりやすいように話す必要性ももてる教材である。題材が進むと、習得した知識及び技能を活用して、様々なことについて同様の話し方ができるように、自分が見聞きしたことや経験したことに加えて、タブレット端末を使ってインターネット検索や図書で調べて、自分や友だちが知らないことを伝え合うようにしていく。また、質問タイムを設けることで、伝わりやすく話せていた点や伝わりやすく話すためのポイントなどについて、友だちと対話しながら学習することができ、自分が話す時だけではなく、友だちの話を聞く活動を通して、知識及び技能の習得や活用につなげることができる。この教材を通して、自分が伝えたいことが相手に伝わった達成感・成就感を十分に味わいながら、事柄を伝わりやすい順序で構成したり、伝えたいことを明確にして話することができるようになってほしい。</p>

(2) 生徒の実態と指導の方向

生徒の実態	
B	<p>【一般的な実態】 CA : 12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスを利用して登下校したり、休日に友だちと遊んだりする。 ・休日にしたことについて、「いつ」「どこで」「誰と」「何をした」「気持ち」の内容を入れて教師に話す。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕方や手順を視覚的に示し、毎日繰り返し取り組むと示してある仕方や手順に沿って活動できるようになる。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じグループの友だちの問題を見て、同じ問題を解けるようになりたいと言う。 ・わからないことがある時、自ら教師に「教えてください」と伝える。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちが好きなことを2つ以上紹介する時、内容ごとにまとめることができる。 ・教師が、行動する前の状況と行動した結果のつながりを問うと、答えられないこともある。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「週末に、なぜ上靴を洗うの」と理由を問うと「上靴が汚れているから」と答えることができる。 ・図書を利用して、テーマの食材の調理など、食べるための過程について紹介する時、美味しく食べる工夫、作り方、加工食品の項目について、相手に伝えたい内容をいくつか選び、食材と関連させて話すことができる。 ・友だちからの、使えなくなっていくつか捨てたペンの話を聞いた後、教師がペンが増えたのか減ったのか聞くと、答えることができない。 <p>【指導の方向】</p> <p>テーマに沿っていくつかの内容を関連づけて話すことや行動する理由を答えることができることから、情報を内容ごとにまとめて捉えたり、身近なことについては、行動と行動した結果のつながりを理解したりしていると考えられる。しかし、行動と行動した結果のつながりを問うと答えることができない様子が見られる。そこで、自分だけではなく他の人たちの活動などを話題に取り入れながら、様々な活動の後の状況に目を向け、話す経験を重ねることで、行動と行動した結果のつながりの理解を深めることができるのではないかと考えた。行動と行動した結果のつながりを様々な場面で話す力は、日常の会話の幅を広げ、生活がより豊かになるであろう。</p> <p>本題材では、行動と行動したことによる状況の変化を視覚的に捉えることができるように、行動の前後の写真やイラストを順序シートに並べ、その内容を互いに関連づけながら話すようにする。その後、理解した段階で順序シートをなくしたり、話題を広げたりする中で習得した知識及び技能を活用し、様々な場面で同様の話ができるようにしていく。</p>
N	<p>【一般的な実態】 CA : 14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組んだり、考えを発表したりした場面で、正しいかどうかを教師に尋ねることがある。 ・休日にしたことについて、「いつ」「どこで」「誰と」「何をした」「気持ち」の内容を入れて教師に話す。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの課題プリントを見て、学習した内容を確認するよう教師が伝えと、自分の考えを整理したり、誤答に気づいたりすることができる。 ・教師が課題に取り組む姿を認め、課題を解決した経験をすると、自分から課題に取り組むことができる。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から宿題の追加を教師に要求したり、友だちに考え方を質問したりする。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の好きな食べ物やテレビ番組、スポーツについての話を聞いて、内容ごとにまとめることができる。 ・修学旅行の思い出を友だちの前で話す時、活動を時間的順序に沿って話すことができる。 ・友だちや教師の話を聞いて、人が行動したこととその理由について教師が問うと、人と行動や行動とその理由がつながっていないこともある。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えや気持ちを聞いて、自分の思ったことや考えなどをまとめて、意見や感想として加えて話す

<p>ことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことについて教師が理由を問うと、面白いからと答え、その後、例えばどんなところか、他に面白いところはなどと問うと答えないこともある。
<p>【指導の方向】</p> <p>自分が見聞きしたことや経験したことについて、活動の順番通りに話すことができるが、話題の全体と中心のつながりを問うと、答えたり、答えなかったりする様子がある。そこで、友だちや教師の話の聞いたり、話したりすることで話題の全体と中心に目を向け、自分の好きなことから調べたことなどに内容を広げて話す経験を重ねることで、話題の全体と中心のつながりについての理解を深めることができるのではないかと考えた。自分の伝えたいことを明確にして詳しく話すことは、日常の会話や発表する場面で生きるであろう。</p> <p>本題材では、話題の全体と中心のつながりがわかるように、聞き取った教師の話トークシートで確かめ、理解した段階でトークシートをなくしたり、話題を広げたりする中で習得した知識及び技能を活用し、様々な場面で同様の話ができるようにしていく。そして、話題に対する自分の答えや理由、理由に対する事例を確かめて、自分が好きなことについて話す内容を明確にして、詳しく話すことができるようにしていく。</p>

3 題材目標 ※「知識及び技能」を「知」、「思考力・判断力・表現力等」を「思」で示している

題材目標		学習指導要領の扱う内容
B	知	『アナタの知らない世界』で、自分が経験したことについて話す時、行動と行動した後の状況とのつながりがわかり、教師の問いに対して、行動した後の状況を話す
	思	『アナタの知らない世界』で、経験したことや調べたことなどを話す時、行動したことについて考え、行動したことによる状況の変化を判断し、時間的順序に沿ってあらすじを話す
	学	言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとしている
N	知	『アナタの知らない世界』で、教師の好きなことについての話を聞いて話の内容について答える時、話題の全体と中心のつながりがわかり、教師の好きなこととその理由、理由に対する事例を答える
	思	『アナタの知らない世界』で、経験したことで好きなことについて調べたことなどを話す時、内容をわかりやすく伝えるために必要な情報を判断し、自分の答えとその理由、理由に対する具体的な事例をつけ加えて話す
	学	言葉がもつよさに気づくとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている

4 題材計画 (全8時間) ※資料末尾にA3別紙で記載

5 本時案 (全8時間の5時間目)

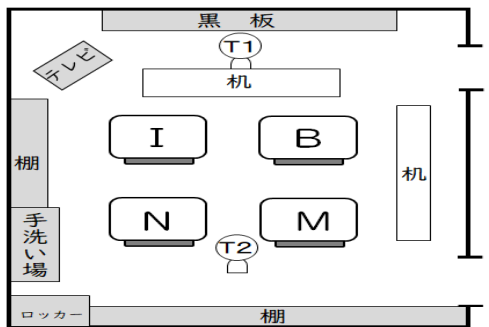

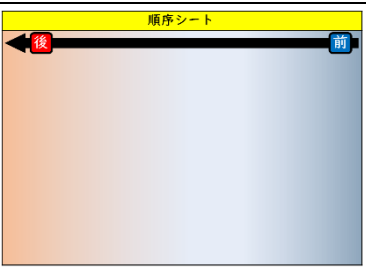
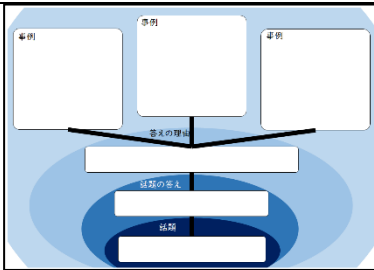




(1) 題目 『アナタの知らない世界』で、時間的順序に沿って校外学習のあらすじや、好きなゲームとその理由、理由に対する具体的な事例をつけ加えて話そう

(2) 本時のめあてと評価規準

観点別の本時のめあて		評価規準
B	知	『アナタの知らない世界』で、経験したことについて話す時、行動と行動した後の状況とのつながりがわかり、教師の問いに対して、行動した後の状況を話す
	思	『アナタの知らない世界』で、校外学習で経験したことを話す時、行動

		したことについて考え、行動したことによる状況の変化を判断し、時間的順序に沿ってあらすじを話す	すじを話す
N	知	教師の好きなゲームについての話を聞いて話の内容について答える時、話題の全体と中心のつながりがわかり、教師の好きなゲームとその理由、理由に対する事例を答える	教師の好きなゲームとその理由、理由に対する事例を答える
	思	『アナタの知らない世界』で、好きなゲームについて話す時、自分が伝えたい内容について考え、内容をわかりやすく伝えるために必要な情報を判断し、話題に対する自分の答えとその理由、理由に対する具体的な事例をつけ加えて話す	話題に対する自分の答えとその理由、理由に対する具体的な事例をつけ加えて話す
全学		A3資料「4 題材計画」に記述した主体的な姿が見られるかどうかで題材終了後に評価する	

(3) 場面設定と準備物

<p style="text-align: center;">場面設定 (中3教室)</p> 		<p style="text-align: center;">板書計画</p> 	
<p>意図と工夫点</p> <p>対話的に学習を進めることができるように、ペアが組みやすい位置に生徒の座席を配置する。</p>		<p>意図と工夫点</p> <p>活動内容とめあてを視覚的に理解できるように、活動やめあて、顔写真カードを提示する。</p>	
準備物			
			
<p>教具名：順序シート (B・N)</p> <p>意図と用途</p> <p>経験したことなどに含まれる事柄を、時間的順序に沿って捉えることができるように、付箋メモに記入した事柄を時系列で貼るために使用する。</p>	<p>教具名：トークシート (M・I)</p> <p>意図と用途</p> <p>話題とその答え、答えの理由、理由に対する事例を確かめることができるように、考えを視覚的にまとめるために使用する。</p>	<p>教具名：付箋メモ</p> <p>意図と用途</p> <p>経験したことなどに含まれる事柄を簡単な操作で貼ったり、並べたりすることができるように、事柄の内容を記入し、順序シートに貼って使用する。</p>	
			
<p>教具名：ワークシート</p> <p>意図と用途</p> <p>活動やめあて、学習した内容について</p>	<p>教具名：聞き取りいいねシート</p> <p>意図と用途</p> <p>詳しく話せたことを確かめたり、</p>	<p>教具名：モニター、タブレット端末</p> <p>意図と用途</p>	

<p>ての理解を深めるために、導入や展開、週末の振り返りの場面で使用する。</p>	<p>意欲的に話したりするために、友だちのよい点を記述して友だちに手渡して、終末の振り返りで使用する。</p>	<p>友だち同士で話した内容を振り返り、内容の理解を深めるために、話した内容を撮影したり、再生したりするために使用する。</p>
---	---	--

(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載

4 題材計画

		一次		二次				三次		
生徒	時数	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	
B	知・技	場面	経験したことについて話す時、							
		わかること	行動と行動した後の状況とのつながりに目を向け、			行動と行動した後の状況とのつながりがわかり、				
		できた姿	教師の問いに対して、			行動した後の状況を話す				
		配慮的に扱う内容	時間的順序に沿ってあらすじを話すことに課題をもつ 文や文章中の、助詞の使い方により、意味が変わることの理解 発音や声の大きさに気をつけて話すこと			主語と述語との関係や接続する語句の役割の理解 普通の言葉との違いに気をつけて、丁寧な言葉を使うこと 語彙の習得に関すること				
	思・判・表	具体的状況	『アナタの知らない世界』で、					校外学習で経験したことを話す時、	調べたことを話す時、	経験したことや調べたことなどを話す時、
	表出像	行動したことについて考え、 行動したことによる状況の変化を判断し、時間的順序に沿ってあらすじを話す								
	主体的な姿	<input type="checkbox"/> 自分で課題を取りに行き、活動を進める展 <input type="checkbox"/> グループでの活動や全体での発表の時に、自ら活動したり、発表したりする展 発 <input type="checkbox"/> わからない時に、友だちや教師に尋ねる展 発 <input type="checkbox"/> できるだけようになったことを様々な場面で活用する展 発 <input type="checkbox"/> 新しく学んだことをワークシートに記録する終 <input type="checkbox"/> タブレット端末で撮った動画を見て、よい点やよりよくするためのポイントを友だちと伝え合う展 発 終								
N	知・技	場面	教師の好きな文房具についての	教師の好きなテレビ番組についての	教師の好きなゲームについての	教師の好きな仕事についての				
		わかること	話を聞いて話の内容について答える時、							
		表出像	話題の全体と中心に目を向け、	話題の全体と中心がわかり、	話題の全体と中心のつながりに目を向け、	話題の全体と中心のつながりがわかり、				
		配慮的に扱う内容	トークシートを使って、好きなテレビ番組と事例を答える		好きなゲームとその理由、理由に対する事例を答える		好きな仕事とその理由、理由に対する事例を答える		語彙の習得に関すること	
	思・判・表	具体的状況	文や文章中の、助詞の使い方により、意味が変わることの理解 発音や発声に気をつけたり、声の大きさ調節したりして話すこと			修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割についての理解 必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使うこと		経験したことや好きなことについて調べたことを話す時、		
	表出像	好きなテレビ番組について話す時、 自分が伝えたい内容について考え、内容をわかりやすく伝えるために必要な情報を判断し、 話題に対する自分の答えとその理由、理由に対する具体的な事例をつけ加えて話す			好きな授業について話す時、 自分が伝えたい内容について考え、 内容をわかりやすく伝えるために必要な情報を判断し、 話題に対する自分の答えとその理由、理由に対する具体的な事例をつけ加えて話す					
	主体的な姿	<input type="checkbox"/> 自分で課題を取りに行き、活動を進める展 <input type="checkbox"/> グループでの活動や全体での発表の時に、自ら活動したり、発表したりする展 発 <input type="checkbox"/> わからない時に、教師に尋ねる展 発 <input type="checkbox"/> 迷ったり、間違えたりした時に、前時までに取り組んだワークシートを見てやり直す展 発 <input type="checkbox"/> 新しく学んだことをワークシートに記録する終 <input type="checkbox"/> タブレット端末で撮った動画を見て、よい点やよりよくするためのポイントを友だちと伝え合う展 発 終								

(5) 展開

学習活動	教師の意図と働きかけ	
	B	N
1. 本時の活動内容とめあてを知る。【導】	<p>○本時の活動に見通しをもち、めあてがわかるように、活動内容やめあて、顔写真カードを黒板に提示し、ワークシートに記入することを知らせる。</p> <p>○前時を振り返り、本時の課題をもてるように、前時で自分や友だちが話した様子を撮ったタブレット端末の動画をモニターにつないで提示し、よかった点について問いかける。</p>	
2. 詳しく話す時のポイントを確かめる。【展】	<p>○詳しく話す時のポイントを確かめられるように、活動写真やタブレット端末、ボード取りに行くことを伝える。</p> <p>○自分が経験した行動の写真を提示し、教師の問いに対して、行動した後の状況を話すか様子を見る。行動した後の状況を話した場合には、行動と行動とのつながりを理解できていることを言葉をかけて認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動する前の状況を話した場合には、行動と行動した後の状況のつながりに目が向くように、「順序シート」を提示して、ワークシートに書かれたメモと見比べることを伝え、行動した後の状況を再度話すことを伝える。 	<p>○教師が話した内容から、教師が好きな仕事やその理由と理由に対する具体的な事例を話すことができるように、教師が話した内容について説明するように伝え、様子を見る。好きな仕事や理由と理由に対する具体的な事例を話すことができた場合には、話の全体と中心を捉えていることを言葉をかけて認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の好きな仕事とその理由を答えた場合には、話の中心に目を向け、具体的な事例を聞き取れるように、トークシートを提示して、再度教師の話聞いて話すことを伝える。
3. 経験したことや好きなことについて、時間的順序に沿ったり、自分の考えに理由とその事例を加えたりして話し、話した内容に対しての友だちの問いに答える。【発】	<p>○経験したことや好きなことについて、時間的順序に沿ったり、話の全体と中心で捉えたりして話すことができるように、ペアになって話し合いながら詳しくポイントを確かめて、話す内容をワークシートにメモすることを伝える。</p> <p>○校外学習で経験したことについて、時間的順序に沿ってあらすじを話せるように、行動の写真を提示して様子を見る。時間的順序に沿ってあらすじを話せた場合には、時間的順序に沿って話すことができたことを認め、時間的順序に沿って話す内容がわかりやすいことを意味づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話した内容が時間的順序に沿っていない場合には、行動したことによる状況の変化がわかるように、「順序シート」を提示してワークシートに書かれたメモと見比べ、時間的順序に沿って、再度あらすじを話すことを伝える。 <p>○本時で学習したことを活用して、友だち同士で認め合えるように、聞き取りいいねシートを提示し、聞き取った友だちの話の内容や話し方を記述し、発表後に友だちに手渡すことを知らせる。</p>	<p>○自分が伝えたい好きな授業の内容について、自分の考えやその理由と理由に対する具体的な事例をつけ加えて話せるか様子を見る。自分の考えやその理由と理由に対する具体的な事例をつけ加えて話せた場合には、具体的な事例が加わることで、考えがよく伝わったことを言葉をかけて認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに対する理由と対応していない事例を話した場合には、自分の考えを詳しく伝えるための情報がわかるように、トークシートを提示してワークシートに書いたメモと見比べ、自分の答えやその理由と理由に対する具体的な事例をつけ加えて、再度話すことを伝える。
4. 本時を振り返り、次時への意欲をもつ。【終】	<p>○本時の活動を振り返ることができるように、友だちから受け取った聞き取りいいねシートを見て、ワークシートの振り返りの欄に学んだことを記述し、その後、挙手をして発表することを伝える。</p> <p>○次時への意欲がもてるように、次時でも『アナタの知らない世界』で話題について、友だちに伝えたいことを考えて話すことを知らせ、本時を終える。</p>	